

川 越 市

令和7年度決算のポイント



令和8年8月



川越市シンボルマーク

1 決算の規模

【歳入】

一般会計

1,467億4,988万4千円
(対前年度比 98億499万1千円増)

【歳出】

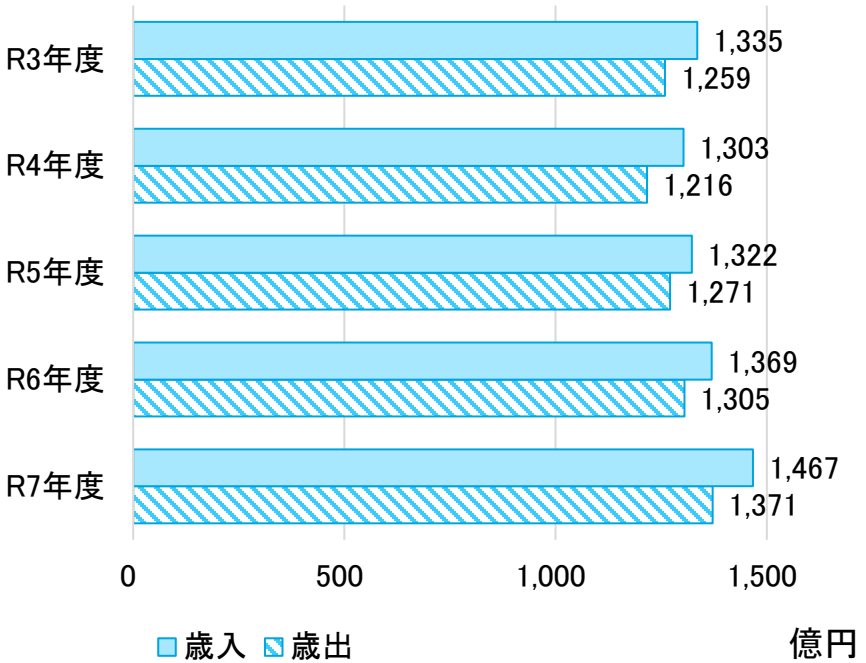
一般会計

1,371億4,133万9千円
(対前年度比 66億7,198万9千円増)

※歳入歳出総額は千円単位とし、単位未満は切り捨てています。

- 対前年度比で歳入は約98億円、歳出では約67億円増加しました。
- 歳入は、繰入金や地方特例交付金等の減はあったものの、市税や国庫支出金の増等により、歳入全体として対前年度比で7.2%増加しました。
- 歳出は、児童手当、小学校体育館空調設備等整備(第3期)、物価高対応子育て応援手当支給事業に係る経費の増等により、歳出全体として対前年度比で5.1%増加しました。

歳入歳出総額の推移(一般会計)



2 決算の収支

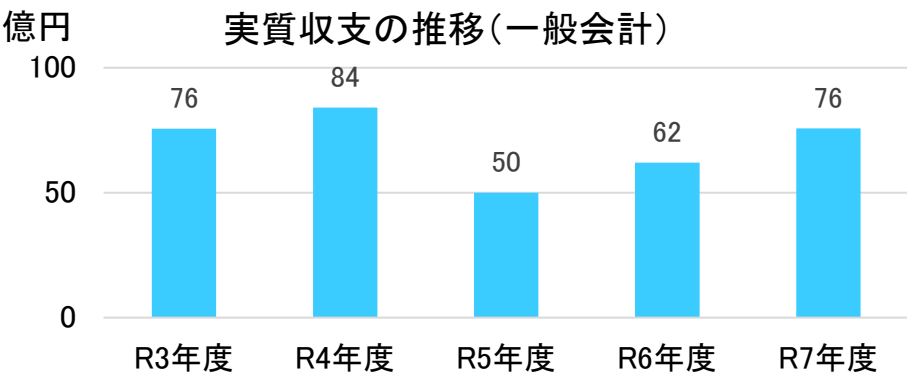
一般会計決算収支の状況

単位：千円

年度	歳入総額 ①	歳出総額 ②	形式収支 ①－②＝③	翌年度へ繰り越すべき財源 ④	実質収支 ③－④＝⑤
R 6	136,944,893	130,469,349	6,475,543	276,080	6,199,462
R 7	146,749,884	137,141,339	9,608,545	2,041,539	7,567,005
比較	9,804,991	6,671,990	3,133,002	1,765,459	1,367,543

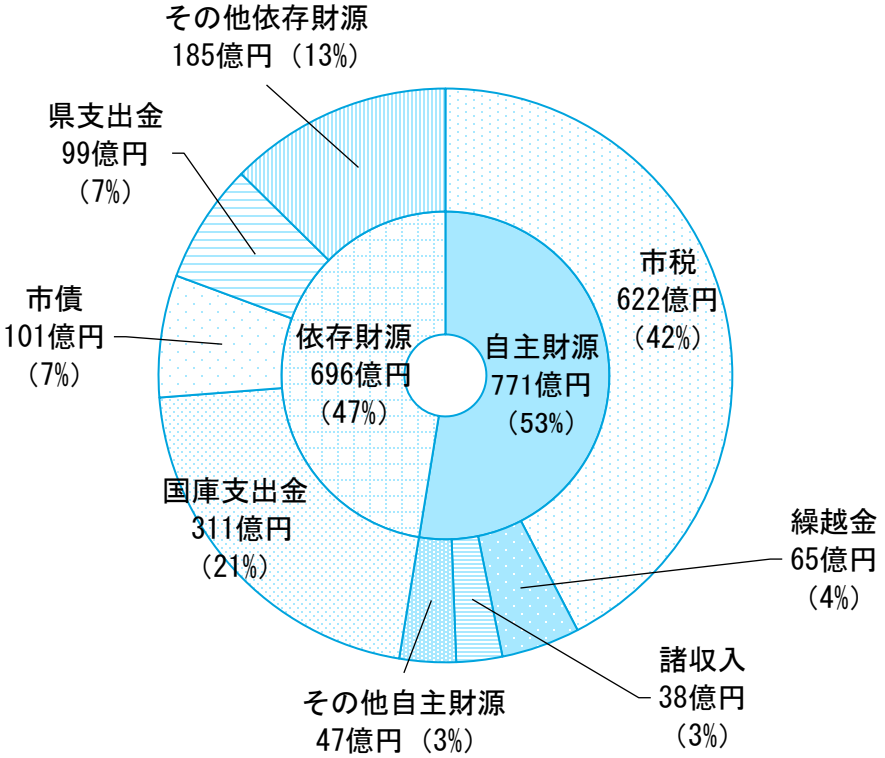
※表中の金額は千円未満切り捨てのため、差引額が一致しない場合があります。

- 歳入総額から歳出総額を差し引き、さらに翌年度へ繰り越すべき財源を除いた実質収支は、75億6,700万5千円となりました。
- 令和6年度と比較すると、実質収支は13億6,754万3千円の増加です。



3 一般会計歳入の内訳

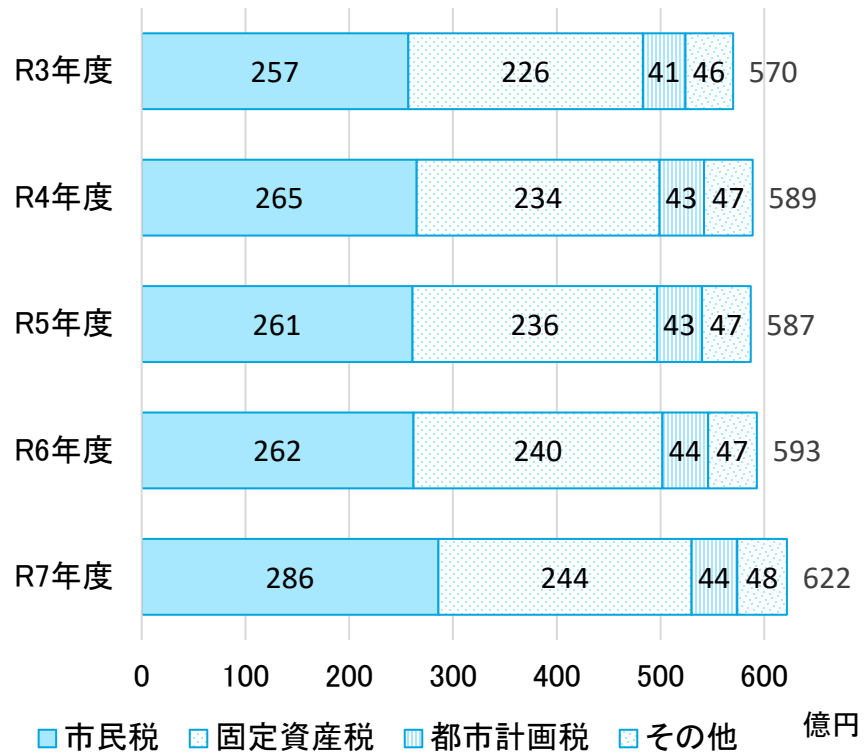
歳入



※計数はそれぞれ四捨五入しているため、計が一致しない場合があります。

- 歳入全体は、市税の増などにより対前年度比で約98億円の増となりました。
- 自主財源の比率は、依存財源である国庫支出金の増などにより55%から53%となりました。

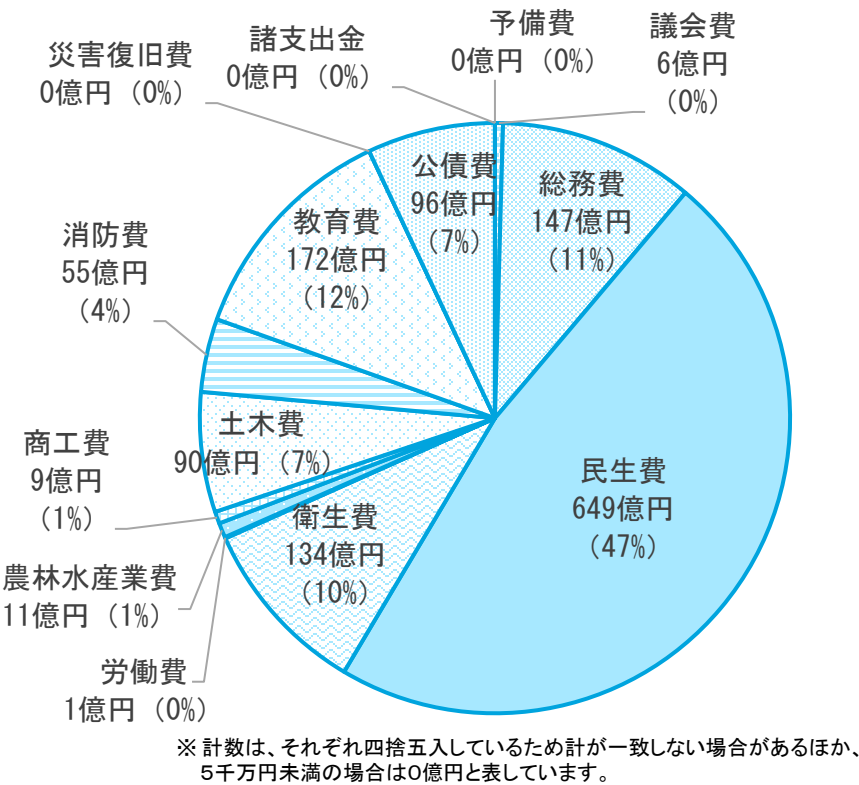
市税収入の推移



- 市民税や固定資産税の増などにより、市税収入全体では、対前年度比で約29億円の増となりました。

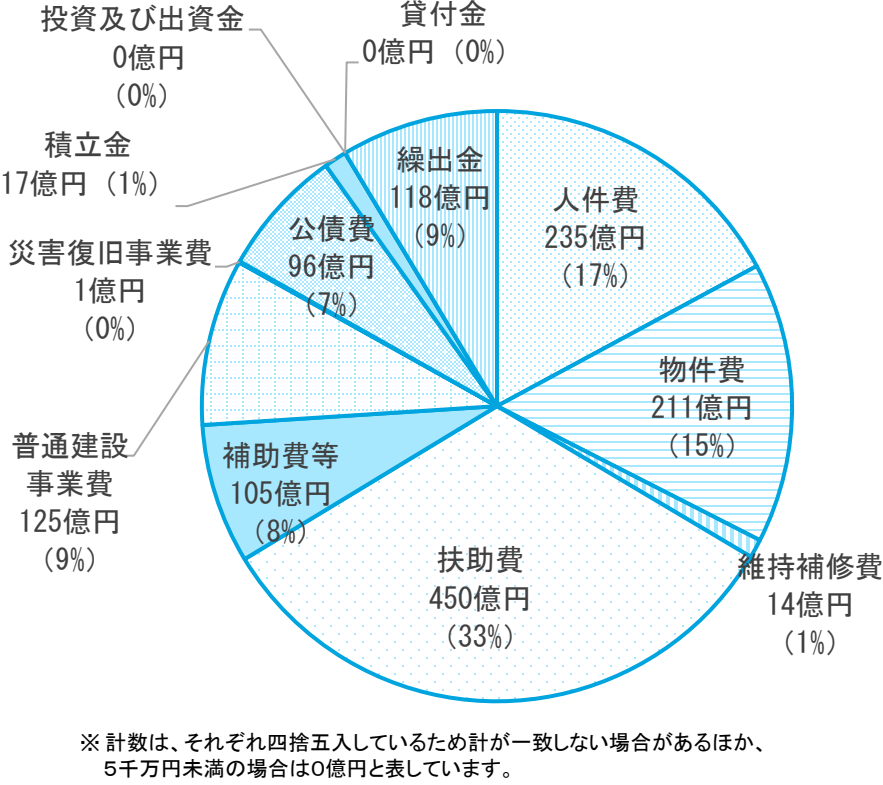
4 一般会計歳出の内訳

歳出（目的別）



- 民生費は、全体の4割以上を占めています。対前年度比では、約25億円の増となりました。
- 教育費は、対前年度比で約16億円の増となりました。

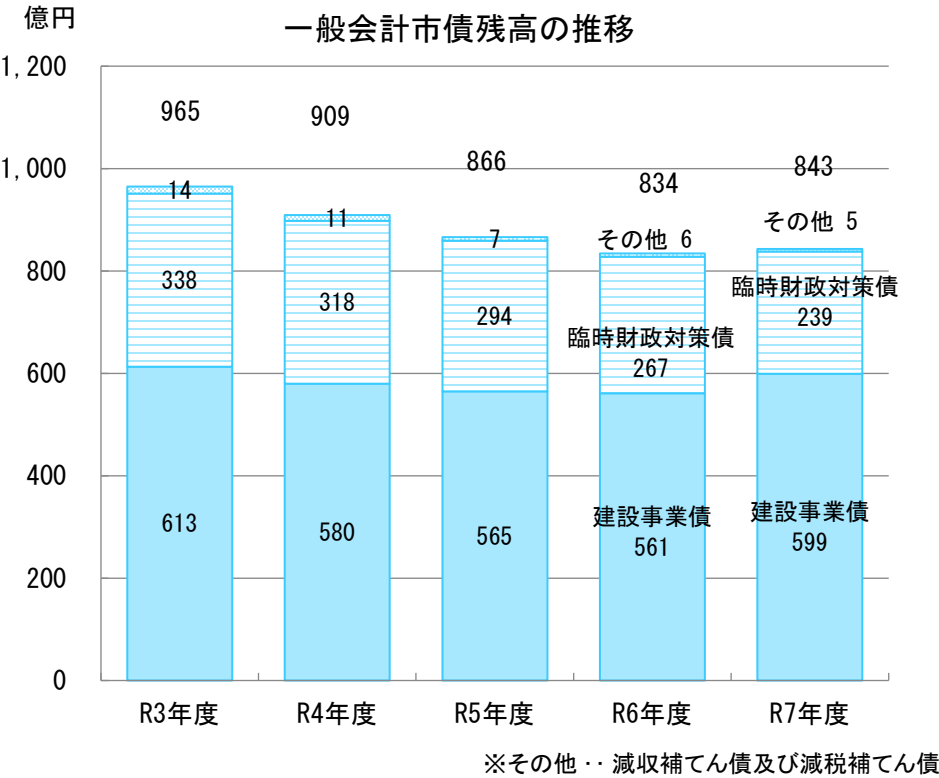
歳出（性質別）



- 扶助費は、全体の約1/3を占めています。対前年度比では、約13億円の増となりました。
- 普通建設事業費は、対前年度比で約39億円の増となりました。

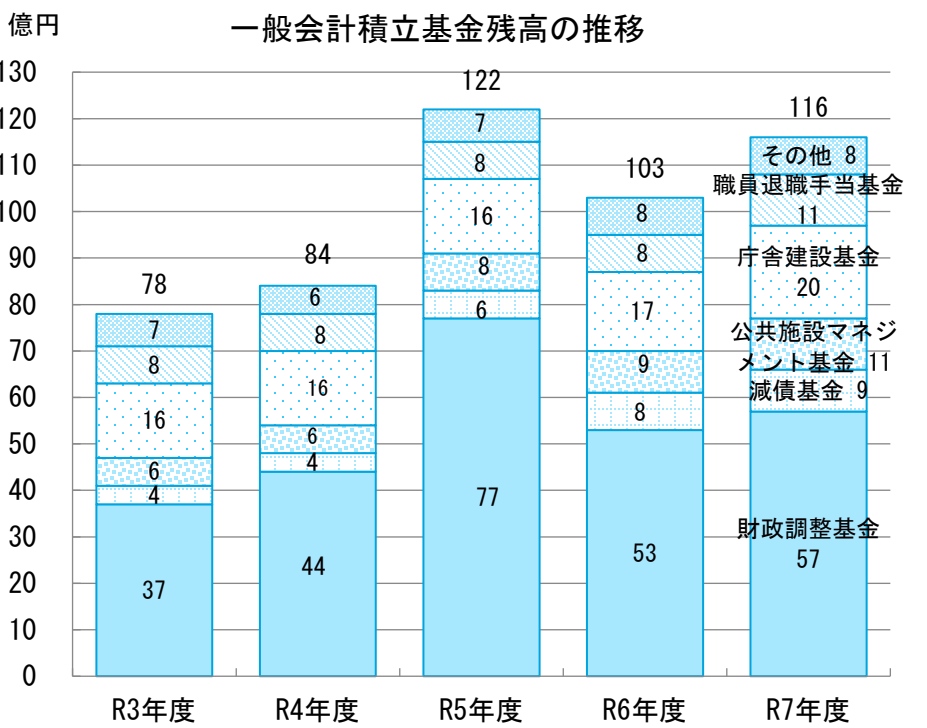
5 市債残高及び積立基金の状況

市債残高の状況



- 市債残高は、前年度末より約9億円の増となりました。

積立基金の状況



- 積立基金残高は、前年度末より約13億円の増となりました。

6-1 物価高騰対策【生活者支援の主な取組】

物価高騰重点支援給付金給付事業

決算額：1,656,133千円

住民税非課税世帯等への物価高騰重点支援給付金の給付を行いました。



物価高対応子育て応援手当支給事業

決算額：1,021,603千円

長期化する物価高の影響を強く受ける子育て世帯に対して、子育て応援手当の支給を行いました。



学校給食における給食食材費高騰対策

決算額：239,483千円

食材費等の高騰による影響を抑制し、給食の質と量を確保しました。



物価高騰対応高校生世代応援事業

決算額：100,091千円

物価高騰の影響を受ける高校生世代の学習等の生活を応援するため、デジタルギフトの支給を行いました。



ひとり親世帯等生活応援支援金給付事業

決算額：54,148千円

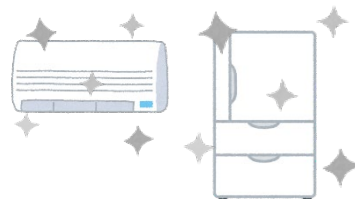
児童扶養手当受給世帯に対して、生活応援支援金の給付を行いました。



省エネ家電買換え促進事業

決算額：37,232千円

家庭の電力使用量を抑制するため、省エネ性能の高いエアコン又は冷蔵庫の買換えを支援しました。



※物価高騰対応デジタルギフト支給事業やプレミアム付き電子商品券事業などの一部事業は、繰越明許費を設定し令和8年度にかけて実施しています。

6-2 物価高騰対策【事業者支援の主な取組】

福祉施設等への運営継続支援事業

決算額：101,134千円

エネルギー価格等の高騰により影響を受けている高齢者施設、障害者施設、児童福祉施設等に対して、運営継続を支援するため、光熱費等の負担軽減を図りました。



中小企業者等物価高騰対策経営改善支援事業

決算額：6,874千円

物価高騰の影響を受けている中小企業者等が持続可能な経営を維持できるよう、経営革新計画や先端設備等導入計画を策定し承認等を受けた中小事業者等に対して、支援を行いました。



肥料価格高騰対策事業

決算額：28,576千円

肥料価格高騰の影響を受ける農業者等に対して、肥料の購入に要する費用を支援しました。



LED照明導入支援事業

決算額：3,913千円

事業所の電力使用量を抑制するため、既存照明設備を省エネ性能の高いLED照明設備へ更新する中小事業者等に対し、補助を行いました。



※福祉施設等への運営継続支援事業や、中小企業者等物価高騰対策経営改善支援事業などの一部事業は、繰越明許費を設定し令和8年度にかけて実施しています。

7-1 主な事業の成果【子ども・子育て、福祉・保健・医療】

- 子ども・子育て分野では、安心して子育てができる環境づくりに向けた施策を推進しました。
- 福祉・保健・医療分野では、住み慣れた地域で、一人ひとりが健康でいきいきと安心して暮らせるまちづくりを推進しました。

みよしの支援センター改修工事

みよしの支援センターに職業センターの施設機能の一部を集約化させる改修を行うため、令和7年度は既存建物の一部解体工事、改修工事設計・地質調査を行いました。

(担当部署：福祉部 障害者福祉課)

決算額：30,275千円



完成イメージ

芳野・古谷地区公立保育所建設

古谷保育園と古谷第二保育園を一体的に見直し整備する地域の基幹となる保育園について、令和8年度の完成を目指したうえで、旧園舎を解体し、継続費を設定して建設工事に着手しました。

決算額：307,027千円



完成イメージ

(担当部署：こども未来部 こども政策課)

带状疱疹ワクチン接種

带状疱疹ワクチンの定期接種化に伴い、65歳以上の5歳年齢ごとの対象者の方や60歳から64歳までの重症化リスクの高い方に対してワクチン接種に係る費用の一部を助成しました。

決算額：39,152千円



(担当部署：保健医療部 健康管理課)

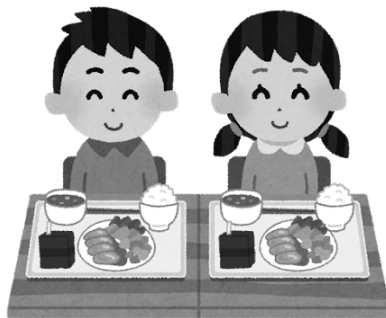
7-2 主な事業の成果【教育・文化・スポーツ、環境】

- 教育・文化・スポーツ分野では、学校給食費の保護者負担軽減の取組や、教育環境の改善、スポーツを通じた健康増進に取り組む基盤整備などを推進しました。
- 環境分野では、老朽化した施設の更新に向けた取組などを推進しました。

学校給食費の保護者負担軽減

食材費の高騰による影響が続く給食について、これまで通りの質や量を保った給食の提供が出来るよう、賄材料費を増額しました。

また、保護者の負担を軽減するため、令和7年9月分から令和8年3月分までの学校給食費を2分の1に減額しました。



決算額: 1,624,837千円

(担当部署: 学校教育部 学校給食課)

宮元町健康ふれあい広場整備

宮元町の旧川越保健所跡地について防災機能を有する多目的グラウンドとして活用を図るため、グラウンドや防災設備等の整備工事を行いました。

決算額: 52,512千円



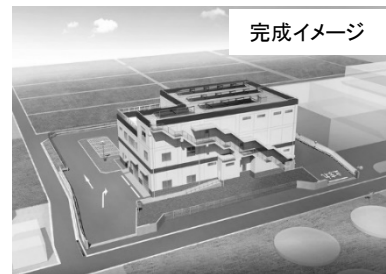
宮元町健康ふれあい広場の写真

(担当部署: 文化スポーツ部 スポーツ振興課)

(仮称)川越市汚泥再生処理センター整備

老朽化した川越市環境衛生センターの施設整備を進めるため、(仮称)川越市汚泥再生処理センターの建設工事に着手しました。
(仮称)川越市汚泥再生処理センターは、令和9年度に稼働を開始する予定です。

決算額: 115,179千円



(担当部署: 環境部 環境施設課)

7-3 主な事業の成果【都市基盤・生活基盤、地域社会・市民生活】

- 都市基盤・生活基盤分野では、水害を防ぐための河川整備や、防災機能を有する広場の整備など、災害に対する都市機能の向上を推進しました。
- 地域社会・市民生活分野では、地域におけるコミュニティ活動を支援するための基盤整備などを推進しました。

準用河川久保川改修

大雨に強いまちづくりを進めるため、準用河川久保川の改修工事を行いました。
一級河川不老川から県道川越所沢線までの区間の整備が令和7年度で完了しました。

決算額：116,805千円



改修後の久保川の写真

(担当部署：建設部 河川課)

新宿町一丁目広場防災施設等整備

川越駅西口の川越地方庁舎跡地について、防災機能を有する広場として活用を図るため、整備工事を行いました。

決算額：185,332千円



(担当部署：都市計画部 公園整備課)

新宿町一丁目広場の写真

地域コミュニティ活動拠点の整備

仮称芳野市民センターは、令和8年度の完成を目指し、継続費を設定して建設工事に着手しました。
また、市民センターと公民館の機能を一体化した新しい霞ヶ関北市民センターを令和7年11月25日に供用開始しました。

決算額：965,884千円



仮称芳野市民センター完成イメージ



霞ヶ関北市民センター写真

(担当部署：市民部 地域づくり推進課)

7-4 主な事業の成果【産業・観光】

- 産業・観光分野では、企業誘致施策を検討するための調査や、住民の生活の質の確保と観光客の受け入れを両立するため、国の補助金を活用したオーバーツーリズム対策を実施した他、グリーンツーリズム拠点施設でのキャンプスペースの開設に向け、整備工事を行いました。

企業誘致

具体的な企業誘致施策を検討するための基礎資料として活用するため、企業誘致に係る経済波及効果等の調査を行いました。

また、市内企業の実態把握とさらなる連携強化のための企業訪問や、企業誘致施策PRのためのパンフレット制作を行いました。

(担当部署:産業観光部 産業振興課)

決算額:3,884千円



オーバーツーリズム対策

観光客が集中する北部市街地の一部の地域や時間帯において、交通渋滞やマナー違反等による住民の生活への影響や、観光客の満足度の低下への懸念が生じていることから、混雑区域内市有地の活用方針の検討、春季と秋季の連休に合わせた歩行者天国の試行、ごみポイ捨て防止対策の支援などの対策を講じました。

担当部署:産業観光部 観光課、都市計画部 都市計画課
都市計画部 交通政策課、建設部 道路街路課

決算額:46,590千円



歩行者天国の様子

キャンプスペースの整備工事

施設の魅力向上、観光の広域化及び滞在時間の延長を図るため、グリーンツーリズム拠点施設にせせらぎ水路、ファイヤーサークル、電源設備等を備えたキャンプスペースを整備しました。

(担当部署:産業観光部 農政課)

決算額:237,087千円

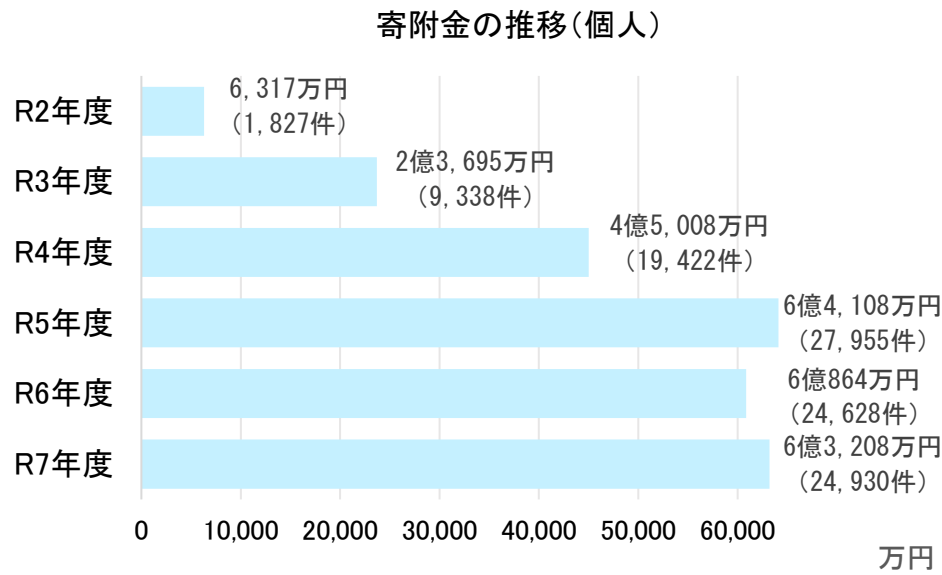


キャンプスペースの写真

(参考)ふるさと納税の状況

令和7年度は、楽器寄附ふるさと納税を含め、24,930件、6億3,208万円のご寄附をいただきました。

また、(仮称)宮元町多目的グラウンド整備事業、(仮称)新宿町1丁目広場整備事業について、ふるさと納税の枠組みを活用したクラウドファンディングを実施しました。



目 的		件数	寄附金額
分野	子ども・子育てに関すること	5,461	126,016千円
	福祉・保健・医療に関すること	1,247	28,842千円
	教育・文化・スポーツに関すること	1,047	24,117千円
	都市基盤・生活基盤に関すること	520	13,749千円
	産業・観光に関すること	1,199	29,311千円
	環境に関すること	967	21,228千円
	地域社会・市民生活に関すること	265	5,975千円
	住民自治・行財政運営に関すること	71	1,428千円
基金	みんなで支える観光基金	267	6,196千円
	文化芸術スポーツ振興基金	181	4,926千円
その他	(仮称)宮元町多目的グラウンド整備事業	527	14,636千円
	(仮称)新宿町1丁目広場整備事業	1,314	39,474千円
	その他の特定事業	20	30千円
一般寄附		11,818	314,820千円
合 計		24,904	630,748千円
楽器寄附		26	1,332千円
合 計(楽器寄附含む)		24,930	632,080千円

(参考)クラウドファンディング型ふるさと納税

誰もが運動を楽しめる場所を！ (仮称)宮元町多目的グラウンド整備事業

(担当部署:文化スポーツ部 スポーツ振興課)

複合遊具やボルダリング、健康遊具を整備することにより、幼児から高齢者まで誰もが気軽に運動を楽しめて健康増進・維持が図れる場となることを目指して、寄附を募集しました。

〈目標金額〉 9,000,000円

目標達成!

〈結果〉

- ・人数 527人
- ・寄附金額 14,636,000円
- ・達成率 162.6%



トラックの写真



ボルダリングの写真

【第2弾！】小江戸川越の駅近に大きな遊具のある広場をつくりたい！

(担当部署:都市計画部 公園整備課)

防災機能を有する広場に、近隣の小学校や保育園の子どもたちから選ばれた児童向けの大型複合遊具と乳幼児向けの遊具エリアを整備するため、寄附を募集しました。

〈目標金額〉 23,000,000円

目標達成!

〈結果〉

- ・人数 1,314人
- ・寄附金額 39,474,000円
- ・達成率 171.6%



複合遊具の写真



幼児用遊具の写真